

県民保協たより

発行所 一般社団法人岡山県民間保育所協議会調査広報委員会 印刷所 二華園印刷 ☎ 086-526-6633



「王子が岳から臨む」(倉敷市～玉野市)

翔



二〇二〇年、まだまだ先だと思っていたオリンピックイヤーとなり、開会式が行われる七月二十四日が、近づいてきました。

開催地が「東京」と決まったのは七年前。決定した時には、日本中が歓喜に沸いたのが、昨日のこのようです。しかし、デザインや設計、開催地の問題など、さまざまな問題がありました。何か問題が起こるたびに、否定的になったのも事実ですが、オリンピックが大好きな国、日本。日本人の「おもてなしの心」を忘れず、開催するからには誰もが成功を願う「大和魂」を見せつけたいものです。

そんな「大和魂」をたくさん受けてオリンピックイヤーに生まれる子どもたち。心身ともに元気に成長するために私たち大人は、愛おしい子どもの命を守りつつ、豊かな育ちを支える使命の重さを改めて実感していると思います。そして、今やグローバル時代。日常の些細なやりとりにてお互いの気持ちを汲み取り尊重していくなかで、たくさんの方々の理解を蓄積し、やがて豊かなコミュニケーション力として様々な状況に対応できるしなやかな心につながるように、一人ひとりを大切に見守ってまいります。

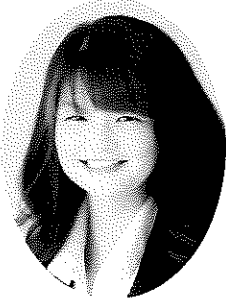
岸上 美和

保育探訪 Part7

「気持ちが楽になる子育てライフ」
 ～上手に怒るミッションにチャレンジ!～

保育コミュニケーション

野村 恵里



子育てでは、腹の立つことが満載ですよ。どうしてもイライラしてしまう。怒りたくないのに、怒ってしまう。「子育てと怒り」は切っても切れない関係かもしれません。親にとって、「怒り、イライラ解消法探し」は永遠の課題とも言えます。でも、ここであえて言わせてもらおうなら「怒ることは悪くない!」

怒りは、感情の一つに過ぎません。楽しい、嬉しい、悲しいと同じように、怒りも自然に沸き起こる。人間にとって当たり前前の感情で、善悪などないのです。では、なぜ私たちは怒ることに否定的なのでしょう?それは、「後悔しているから」ではないですか?
 これからお話するアンガーマネジメントは、後

悔しい怒り方をするための心理トレーニングです。つまり、「上手に怒るための方法」であり、自分に合った「怒り、イライラ解消法探し」をすることです。今回は、初心者編の3ステップをお伝えします。皆さんは、今後の幸せな子育てを手に入れるためのミッションにチャレンジするので

す!
 ステップ1、「衝動コントロール」。ミッション目標は、「落ち着く」です。怒りを反射的に爆発させず、一呼吸置くために6秒待つのが最初のミッションです。落ち着くことができれば、怒りは暴走しません。テクニクとしては「6秒ルール」があります。「1〜6までゆっくり数える」だけなので誰でもどこでも簡単に行えます。最もポピュラーです。が、6秒で怒りはおさまらない、とほとんどの方が言います。その場合、6秒待つためのミッション目標を見失っているかもしれないですね。「落ち着く」を目指しているのを忘れないようにしましょう。
 ステップ2、「思考コン

トロール」。ミッション目標は、「考える」です。無駄なイライラや怒りを減らすために、「重要なことだけ怒る」を目指します。何でもかんでも怒っていると、子どもにその重要性が伝わりづらくなり、メリハリをつけられた怒り方ができれば、効果も高まります。

怒ると疲れませんか? 怒りはエネルギー消費率がめちゃめちゃ高いのです。あなたが持っているエネルギーを全て怒りに使い果たすのはもったいないですよ。だからこそ、「怒る、怒らない」の取捨選択が必要です。ステップ1で落ち着くことができているれば、冷静に「これは本当に怒ることかな?」と考えることができるでしょう。

ステップ3、「行動コントロール」。ミッション目標は、「わかりやすく伝える」です。このミッションを発動する項目としては、ステップ2で「怒る必要がある」と選択したもので「怒らない」と決めたものに対しては、後、二度と怒る必要はありません。「怒らない」選択により、イライラ項目

が減り、気持ちは楽になります。ただし、「怒る」を選択したなら、怒ってOK。「なぜ怒っているのか(理由)」「どんなふうに行動を変えればいいのか(具体的な方法)」「どんな未来が待っているのか(ゴール)」を、子どもの発達年齢に合わせてわかりやすく伝えましょう。

子育てであるあるフレーズ「何回言ったらわかるの」は、子ども側からすれば、「何度言われても理解不可能」なのかもしれません。うちの子レベルに合わせて、理解できる言葉で伝えてあげれば問題行動が改善する可能性は高まります。行動が改善すれば、怒る必要はなくなりますね。初心者編、いかがでしたか?日々のイライラが解消し、上手に怒ることができれば子育てを楽しめるようになります。笑顔で、穏やかな毎日が送れるなんて、親子にとってこの上ない幸せです。その幸せを手に入れる方法が、アンガーマネジメントです。ミッションにチャレンジして、レッツ!気持ち楽になる子育てライフ!

幹部研修会報告

十二月十二日きらめきプラザ三階三〇一会議室に園長や主任保育士、七十六名が集まり令和元年度幹部研修会を開催した。四月から働き方改革関連法が順次施行されており、関連する二つの講演を企画した。

まず「選ばれる園になるための人事・労務対策と働き方改革」という演題でチャイルド社常務取締役の神戸敏文先生に労務管理の基本と働き方改革への対応方法について講義してもらった。

テキストはチャイルド社の「選ばれる園になるための労務管理」と『どうする、園の「働き方改革」』を使用した。内容は、就業規則の周知、労働条件通知書、労働時間と休憩、休日、時間外労働と休日労働、三六協定の締結と届出、定額残業、年次有休休暇の管理、諸手当、同一労働同一賃金、求人と採用、休職と復職、労使関係の開始と終了など、広範囲に渡る。

保育士不足の現在、問題を抱えた職員を採用する可能性がある。裁判になって大丈夫なように日頃の対応が大切だと強調されていた。例えば、就業規則は職員に周知して初めて効力を持つので職員に読ませたことを記録として残しておく。採用試験を行う時に本人が同意すれば通院歴や犯罪歴等の質問票を渡し記入してもらおう。三六協定書は職員



代表者の記名押印が必要だが、代表者が民主的な方法で選出されたことを職員会議録などに明記する。定額残業制度を導入している場合、実際の残業時間に基づく残業代が定額分を超えた場合、超えた部分の残業代の追加支給が必要である。十日以上の有休休暇を付与した職員には本年度から五日以上の取得が義務づけられた。未取得の職員がいると一人あたり三十万円の罰金が科せられるので要注意である。

また来年度以降（中小企業は令和三年度以降）、職場内で正社員と非正規社員の間で基本給や賞与も含め、あらゆる待遇において不合理な格差を設けることが禁止される。業務内容等に差があるために格差がある場合は、その差を合理的に説明することが必要になる。手当については格差を認め

ないケースがあるので再確認しておきたい。神戸氏は杉並区で6カ所の保育園を経営する（株）三恭の役員と総務・人事部長を兼務しており、保育園ならではのアドバイスをいただいた。

次に「労務に関する悩み事相談Q&A」という演題で、岡山働き方改革推進支援センター専門家（中原労務管理事務所所長）の中原俊先生に講義をしていただいた。法改正に対応するために就業規則を見直すにあたり判断に迷うことを質問として事前に送り、それに答える形で講義を進めてもらった。内容は、賃金の決定基準、給与、福利厚生、慶弔休暇、派遣職員、労働時間の管理、就業規則の改正等である。

同じ職種の仕事がない場合は最も近い正職との比較となるので注意が必要である。



ある。基本給や賞与については格差を合理的に説明するのは容易ではないので、「賃金は各人の職務遂行能力を基準に評定期間内の業績・行動等を多面的に評価した上で、職能給テーブルの範囲内で決定する。」とした上で、非正規職員も含めたキャリアパス一覧表を作成し、これに基づき初任給や昇給を決定する。貢献度をポイントで数値化し、ポイント数に応じて賞与を配分する等、決定方法を具体的に説明するとよい。正職への登用制度を設けておくと、処遇格差の説明に役立つ場合もある。

副業や兼業を禁止する規定は認められないこと、ハラメントの禁止が強化されていることにも注意したい。労使間での係争を処理する機関として働き方改革推進支援センターが設置され、裁判外紛争解決手続き（行政ADR）を無料で利用できるようになった。

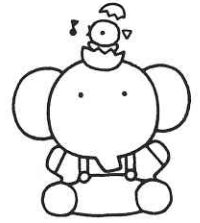
働き方改革に関する相談は岡山働き方改革推進支援センターで受け付けている。三回までは無料で出張相談にも応じてくれるとのことである。

今回の研修会が人事労務管理を見直す契機となり、学生からも選ばれる園になるための一助となれば幸いである。

岡山県民間保育所協議会
会長 小松原 望



岡山県民間保育所協議会主催 保護者研修会報告



『あそびうたコンサート』 アトリエ自遊楽校 あきらちゃん&ジャンプくん



去る、令和元年十一月二十三日(土)に、井原市にありますアクティブライフ井原に於いて、岡山県民間保育所協議会主催で、アトリエ自遊楽校のあきらちゃん&ジャンプくんによる『あそびうたコンサート』を実施させて頂きました。主管しました、きこの保育園を中心に共催のいばら保育園、いずみ保育園の保護者

と子どもたちが合わせて一三〇名程と、三園と近隣園の保育士等、四〇名程が参加して、楽しく、温かい雰囲気の中あそびうたコンサートとなりました。当日は主催者である民間保育所協議会より、旭川こども園の古原一恵園長にご挨拶を頂き、コンサートを開始しました。開始直後は少し緊張していた子どもたちも曲が進むにつれ、段々と慣れてきて、あきらちゃん&ジャンプくんと一緒に動くことが出来るようになり、ジャンプくんがステージから降りてくるとその周りに集まって、動きを真似て一緒に踊ることが出来ていました。『ハッピーバースデー』の歌の時には、自分の生まれ月にステージの上へ上げてもらい、振り付けを踊るのですが、普段上がること

のないステージに上がれることが嬉しくて、何度も誕生日が来ているお子さんもおられました。今回はお父さんの参加も多く、お父さん達が恥ずかしがらずに積極的に参加してくださったので、とても雰囲気の良いコンサートになりました。親子で参加し、子どもと関わって遊ぶことの楽しさを保護者の方が少しでも感じて頂けていたら、嬉しいと感じました。ジャンプくんの切れの良い動きや体操、振り付けに感心すると共に、あきらちゃんの三六〇度に張り巡



らされた子どもたちの動きに対するアンテナにも驚きを感じ、保育者として見習いたいと思った人もいたはず。楽曲的にもYou Tube等で配信されている『ライオン体操』や『はなまる温泉』などすぐに保育に取り入れることが出来るものが多く、職員の方でも参加したいと言う感想も多く聞かれました。保護者も、子どもも保育者も皆、笑顔で楽しめる公演会を主催して頂き、本当にありがとうございました。

きこの保育園
園長 今田 一二



新任職員研修会の紹介

県民保協は毎年三月頃に新任職員研修会を提供しています。本年度は令和二年三月十日に開催しますが、昨年三月十一日にきらめきプラザで行った研修会の概要を紹介したいと思います。

この研修は経験年数三年未満の職員が対象で、昨年度は百六十名が参加、その約八割がこれから保育現場に出る新規採用の保育士でした。また、県内の保育施設であれば、会員園でなくても参加できます。

さて、この研修会では、三つの講演がありました。一つ目は、山陽学園短期大学幼児教育学科准教授の荒島礼子先生の「私が選んだ保育者の道」でした。先生は、保育士としての心構えに関してお話されました。保育は、児童憲章や児童福祉法、保育所保育指針などに裏付けられた公的事業であり、人間の基礎を育てる責任の重い職業です。保育士は、自らの健康管理を行い、子どもの発達をよく知



り、工夫と研究心の維持に努めること。また、子どもと親と保育士が共に育ちあうために、行き届いた配慮ができるように心掛ける必要があることなど、話されました。

二つ目は、社会福祉法人ちとせ交友会統括園長の山口和代先生の「保育士に必要な接遇について考えよう」でした。先生は、なぜ、保育士に接遇が必要なのか、保護者とのより良いパートナーシップのために、柔らかな目線や温かい言葉かけなど、保育士の心持ちや表情まで大切になる

と話されました。そして、職員間のチームワークの大切さに触れ、人と出会う中で、自分を知っていくことや挑戦することが大切であると話されました。

三つ目は、株式会社チャイルド本社絵本第一編集部保育絵本研究室長の高崎真先生の「遊びから学びへ：自然に育つ興味の芽」でした。絵本の楽しさには、想像する楽しさ、絵を読む楽しさ、読み合わせる楽しさがあり、絵本は、大人と子どもとの心をつなぎ、子どもの大切な心の栄養になると話されました。



参加者は、真剣なまなざしで講師の先生の話聞いていました。休憩時間には、隣の人とおしゃべりしたり、同期の仲間との再会を喜ぶ姿もありました。研修後に、この研修で学んだことをレポートにまとめ、提出しました。レポートは所属長に送付されます。

当協議会は、保育者として必要とされるスキルを身につけ、質の高い保育を提供できる保育士の育成に、今後も取り組んでいきたいと思えます。

岡山県民間保育所協議会

副会長 坪中 弘子

